

## 平成30年度橋梁定期点検の結果について

### 1. 点検の概要

甲斐市では橋梁の定期点検として、「橋梁定期点検要領 平成26年6月 国土交通省道路局 国道・防災課」に準拠し近接目視を基本とした点検を行い、橋梁毎の傷み具合を以下の表-1及び表-2に示す区分に分類しました。

表-1 対策区分の判定区分

判定区分	判定内容
A 0	点検の結果から損傷は認められない。
A	損傷が軽微で補修を行う必要がない。
B	状況に応じて補修を行う必要がある。
C 1	予防保全の観点から、速やかに補修等を行う必要がある。
C 2	橋梁構造の安全性の観点から、速やかに補修等を行う必要がある。
E 1	橋梁構造の安全性の観点から、緊急対応の必要がある。
E 2	その他、緊急対応の必要がある。
M	維持工事に対応する必要がある。
S 1	詳細調査の必要がある。
S 2	追跡調査の必要がある。

表-2 健全性診断の判定区分

区分	定義
健全	道路橋の機能に支障が生じていない状態。
予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
早期措置段階	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている、または生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

「健全性の診断」と「対策区分の判定」は、それぞれの定義に基づいて判定を行いますが、一般には主要部材（主桁、床版、下部工、支承部）において次のような対応となります。

- 「 」：A、B
- 「 」：C 1、M
- 「 」：C 2
- 「 」：E 1、E 2

## 2. 点検実施橋梁とその結果

平成30年度の定期点検は以下の表-3に示す20橋について実施しました。

表-3 点検実施橋梁とその結果

橋梁名(フリガナ)		路線名	橋長 (m)	対策区分の 判定結果	健全性の 診断結果	備考
回看橋	ミカエリハシ	駒沢三島線	38.8	C 1		
北原橋	キタハラハシ	田畑駒沢線	36.8	C 1		
天王橋	テンノウハシ	スポーツ橋天王橋線	39.2	C 1		
笠石橋	カサイシハシ	東部宇津棟線	30.9	C 1		
スポーツ橋	スポーツハシ	志田笠石線	32.6	C 2		
薬師橋	ヤクシハシ	山本新田線	29.6	C 1		
東堀橋	ヒガシボリハシ	東堀上の山線	44.2	C 1		
学校橋	ガッコウハシ	新町大袋線	48.8	B		
関谷水路橋	セキヤスイロキョウ	-	49.4	M		
大滝橋	オオタキハシ	県道学校橋線	62.2	M		
西原橋	ニシハラハシ	-	29.6	C 2		
笠石水路橋	カサイシスイロキョウ	-	36.0	C 1		
山ノ神橋	ヤマノカミハシ	-	46.0	C 1		
山ノ神水路橋	ヤマノカミスイロキョウ	-	44.6	C 1		
天王水路橋	テンノウスイロキョウ	-	38.9	C 1		
天神橋	テンジンハシ	-	36.6	C 1		
駒沢水路橋	コマザウスイロキョウ	-	39.4	S 1		
学校水路橋	ガッコウスイロキョウ	-	34.2	B		
八幡橋	ハチマンハシ	上町山宮線	72.2	C 1		
金石橋	カナイシハシ	金石橋線	75.2	C 2		

### 3. 点検結果のまとめ

対策区分の判定結果を表-4に、健全性の診断結果を表-5に示します。

表-4 対策区分の判定結果

判定区分	判定の内容	橋梁数
A 0	点検の結果から損傷は認められない。	0
A	損傷が軽微で補修を行う必要がない。	0
B	状況に応じて補修を行う必要がある。	2
C 1	予防保全の観点から、速やかに補修等を行う必要がある。	12
C 2	橋梁構造の安全性の観点から、速やかに補修等を行う必要がある。	3
E 1	橋梁構造の安全性の観点から、緊急対応の必要がある。	0
E 2	その他、緊急対応の必要がある。	0
M	維持工事に対応する必要がある。	2
S 1	詳細調査の必要がある。	1
S 2	追跡調査の必要がある。	0

表-5 健全性の診断結果

区分	定義	橋梁数
健全	道路橋の機能に支障が生じていない状態。	4
予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。	13
早期措置段階	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。	3
緊急処置段階	道路橋の機能に支障が生じている、または生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。	0

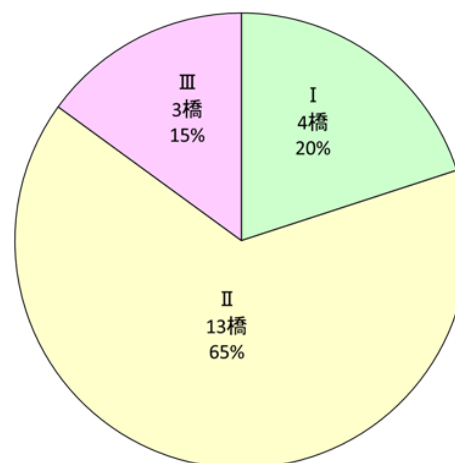
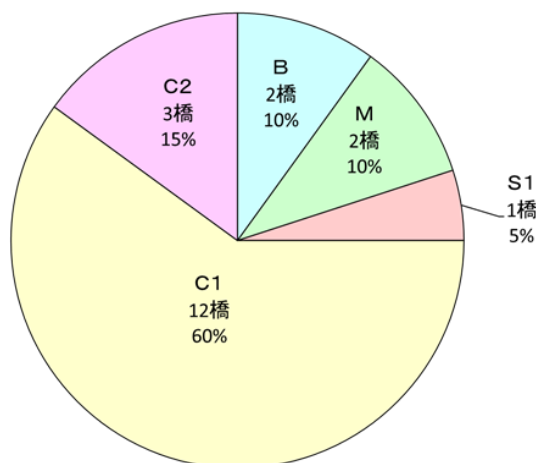


図-1 対策区分の判定結果

図-2 健全性の診断結果

点検結果より“橋梁構造の安全性の観点から、速やかに補修等を行う必要のある”橋梁を3橋確認しましたので、5年以内を目途に対策を実施する予定とします。また、“詳細調査の必要がある”橋梁を1橋確認しましたので、詳細調査を実施する予定です。なお“予防保全の観点から、速やかに補修等を行う必要がある”橋梁および“維持工事に対応する必要がある橋梁”が全体の半数を占めていますので、これらの橋梁については、計画的に順次対策を進めていく予定です。